



株主メモ

事業年度 毎年8月1日から翌年7月31日まで  
 定時株主総会 10月  
 基準日 7月31日  
 上記のほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。  
 配当金支払株主確定日 期末配当金 7月31日  
 中間配当金 1月31日  
 単元株式数 100株  
 上場市場 東京証券取引所市場第一部  
 公告方法 電子公告とし、当社ホームページ (https://www.samco.co.jp/) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
 株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関) 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 同連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
 電話 0120-094-777 (通話料無料)  
 ※株式関係のお手続き用紙のご請求は、三菱UFJ信託銀行のホームページ (https://www.tr.mufg.jp/daikou/) でも承っております。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご紹介

最新のトピックスをはじめ、財務情報や会社情報を掲載しております。製品・アプリケーションの紹介や広報誌「samco NOW」など、掲載内容を充実させております。当社をよりご理解いただくためにもぜひアクセスしてください。

<https://www.samco.co.jp/>



トップページ





令和2年4月

左：代表取締役社長兼COO 川邊 史  
右：代表取締役会長兼CEO 辻 理

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第41期中間期の報告書をお届けいたしますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

## 第41期中間期の事業環境と経営成績

半導体等電子部品業界におきましては、当社の関わる化合物半導体および電子部品製造装置の販売マーケットにおいてスマートフォンや車載センサーなどの電子部品分野、あるいはMEMS（Micro Electro Mechanical Systems＝微小電気機械素子）といった先端分野での研究開発投資が幅広い企業で進み、その中から本格生産への移行も進んでおります。また、5G（第5世代移動通信システム）の本

格導入に向けた応用分野の広がりや装置需要の拡大が見込まれております。

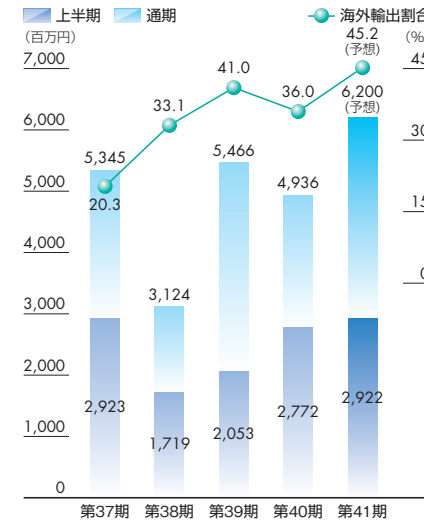
このような状況の下、オプトエレクトロニクス分野の通信用レーザーや、電子部品分野の高周波デバイス、パワーデバイス、MEMS、各種センサー等向け製造装置の受注活動への注力による既存事業の推進に加え、新規事業（ヘルスケア事業）の創出に向けた技術開発への取り組みや、新製品のアクアプラズマの拡販による新たな事業領域の拡大に注力してまいりました。その結果、当第2四半期累計期間での受注高は3,183百万円（前年同期比22.1%増）、当第2四半期会計期間末の受注残高は2,339百万円（前年同期比25.9%増）と、堅調に推移いたしました。また、各利益につきましては、海外市場にて収益性の高い製品の販売があったことに加え、工場の安定稼働による生産性向上や経費の増加抑制努力により各種経費が想定より低めに推移したことで、それぞれ前年同期を上回ることができました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高が2,922百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は460百万円（前年同期比63.3%増）、経常利益は471百万円（前年同期比80.0%増）、四半期純利益は341百万円（前年同期比84.5%増）となりました。

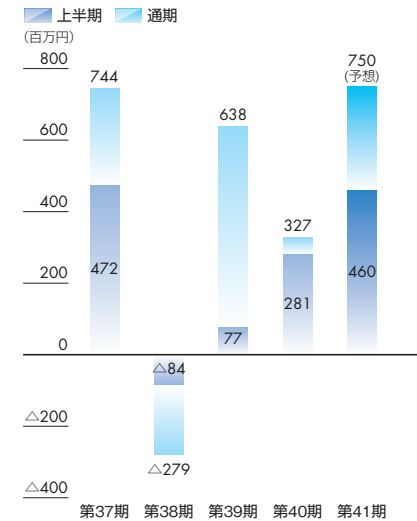
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

なお、配当につきましては、通期での実施を予定しておりますので、株主の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

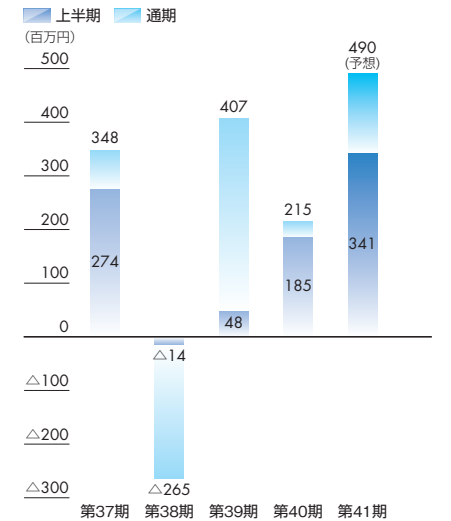
## ■ 売上高・海外輸出割合



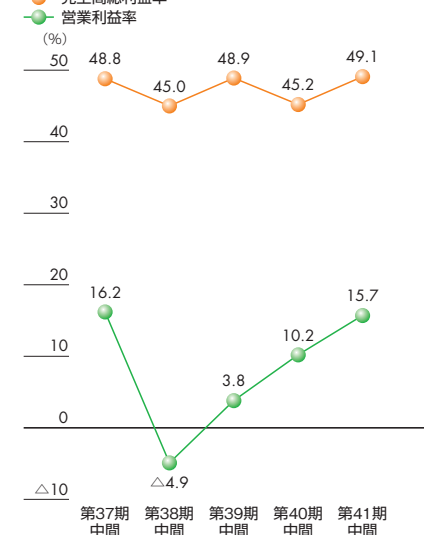
## ■ 営業利益



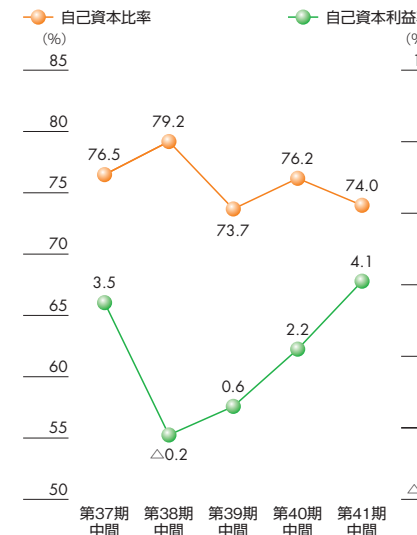
## ■ 中間(当期)純利益



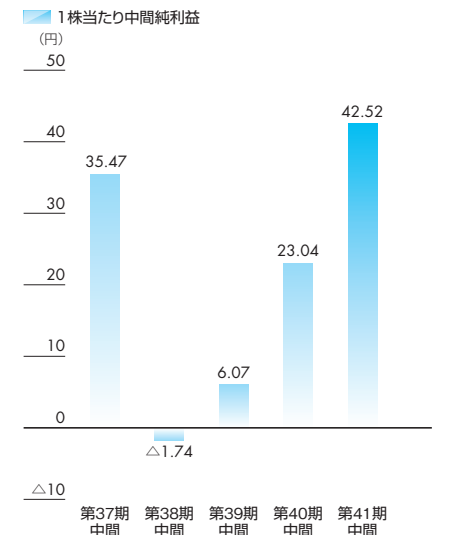
## ■ 売上高総利益率・営業利益率



## ■ 自己資本比率・自己資本利益率



## ■ 1株当たり中間純利益

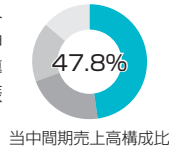


## 品目別販売状況

### ■ エッチング装置

売上高 1,395百万円 前年同期比 20.5%減

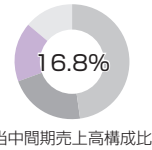
国内の電子部品分野の高周波フィルタ向けと海外の電子部品分野の高周波デバイス向けの販売が伸びた一方で、オプトエレクトロニクス分野の半導体レーザー(LD)向けの販売が国内外ともに振るわず、売上高は1,395百万円となりました。



### ■ 洗浄装置

売上高 490百万円 前年同期比 57.4%増

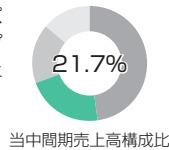
国内のオプトエレクトロニクス分野向けと電子部品分野向け、海外の電子部品分野の販売好調により、売上高は490百万円となりました。



### ■ CVD装置

売上高 634百万円 前年同期比 163.5%増

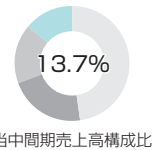
国内の電子部品分野の高周波フィルタ向けとパワーデバイス向けの販売好調に加え、海外のオプトエレクトロニクス分野向けの販売も伸び、売上高は634百万円となりました。



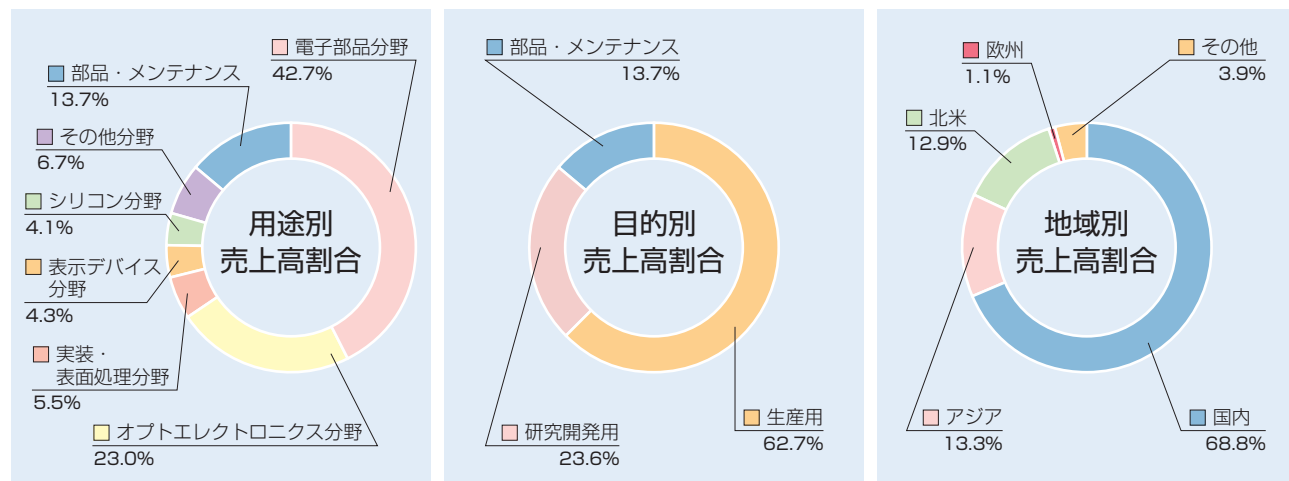
### ■ その他

売上高 401百万円 前年同期比 13.6%減

既存装置のメンテナンスや部品販売、装置の移設・改造作業などで、売上高は401百万円となりました。



## 売上高割合状況



## サムコの製品

### エッチング装置



ICPエッチング装置

半導体の加工を得意としており、次世代パワーデバイスの材料である窒化ガリウム(GaN)や炭化シリコン(SiC)などの加工が可能です。

#### 微細加工分野

### CVD装置



液体ソースCVD®装置

反応性の気体を半導体基板上に供給し、プラズマなどで化学反応させることで薄い膜を堆積させる装置です。半導体を水分やほこりから保護したり、絶縁性を持たせたりする目的で使用されます。当社は独自の原料を用いた液体ソースCVD®(Chemical Vapor Deposition=化学気相成長)法に特長があり、比較的低温での高速成膜が可能です。

#### 薄膜形成分野

### 洗浄装置



プラズマクリーナー

液体を用いないドライ洗浄方式で、減圧下で反応性の気体をプラズマ放電させて半導体基板の表面を洗浄します。独自に開発したAqua Plasma®は銀や銅の表面還元や樹脂の接合など幅広い分野に応用されています。また、紫外線(UV)とオゾン(O<sub>3</sub>)を用いたUVオゾンクリーナーも取り揃えています。

#### 洗浄・表面処理分野

## サムコの事業分野

### オプトエレクトロニクス分野

#### 照明や光通信に使われるLEDやLDなどの発光デバイス

電気信号を光信号に変換したり、逆に光信号を電気信号に変換したりするデバイスで、主に化合物半導体で作られています。自動車のヘッドライトに用いられる高輝度LEDやLD、データセンターで用いられる近距離通信用のLDや光導波路などのデバイスがあります。



### 電子部品分野

#### IoT(Internet of Things)を支えるキーデバイス

各種センサー・MEMS(Micro Electro Mechanical Systems=微小電気機械素子)・高周波フィルタなどの分野です。スマートフォンに多数搭載される高周波フィルタは、IoT時代を迎えるその応用製品が飛躍的に増加しています。



### 実装・表面処理分野

#### 電子機器の小型化、軽量化および高機能化を実現する重要なプロセス

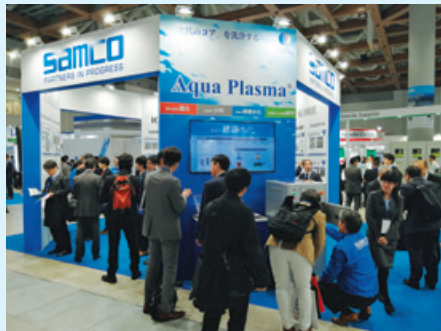
パッケージ工程前のドライ洗浄分野です。最先端パッケージとして注目が高まるファンアウトウエハーレベルパッケージ(FOWLP)をはじめ、高機能な電子機器を製造するための信頼性の高い洗浄が要求されます。



## SEMICON Japan 2019 に出展

世界最大級のエレクトロニクス製造サプライチェーンの総合展示会である『SEMICON Japan 2019』が12月11日から13日までの3日間、東京ビッグサイトで開催されました。今回は695社が出展し、延べ約55,000人の来場者で連日賑わいました。

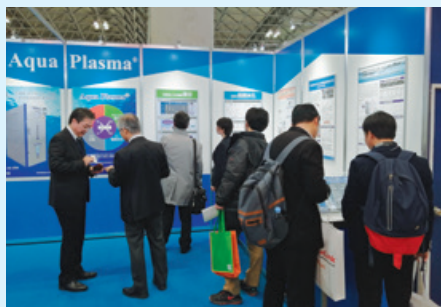
当社は、化合物半導体加工用として実績豊富なICPエッチング装置『RIE-400iP/iPC』や、金属や誘電体などの難エッチング材料加工を得意とする『RIE-800iP/iPC』、ナノからマイクロレベルの薄膜を形成するプラズマCVD装置やALD装置などを紹介しました。また、新製品のAqua Plasma®クリーナー『AQ-500』の実機展示を行い、多くの方々にご覧いただきました。



SEMICON Japan 2019  
当社ブース

## 第10回 高機能フィルム展 に出展

12月4日から6日までの3日間、幕張メッセにおいて『高機能素材Week』が開催され、当社はその中の『第10回 高機能フィルム展』に初出展いたしました。接着剤レスの常温接合で高い評価を頂いているAqua Plasma®クリーナーの最新の技術データを紹介し、ブースは連日大盛況でした。



第10回 高機能フィルム展  
当社ブース

## 東海支店を移転、サービス体制を強化

東海・中部地方のお客様へのさらなるサービスの向上を目指し、1月14日付で東海支店を愛知県長久手市から顧客へのアクセスがより便利な名古屋市名東区に移転拡充いたしました。

当社が注力する化合物半導体は、5Gや自動運転、電気自動車に必要な高周波デバイスやパワーデバイス、センサー、半導体レーザーなどに多く使われ、さらなる需要拡大が見込まれております。東海・中部地方には、自動車やオプトエレクトロニクス関連の企業が集積しており、次世代車載半導体の開発も積極的に進められようとしております。

東名高速道路名古屋インターチェンジの近くに位置し、豊田市や浜松市などの顧客へのアクセスがより便利な新拠点に移転し、サービス体制の強化を進めてまいります。

※新住所

〒465-0043 名古屋市名東区宝が丘270番地 名古屋セントラルインタービル4階  
TEL 052-715-5285 FAX 052-715-5286

(令和2年1月31日現在)

## ■ 会社概要

商号 サムコ株式会社  
 英文社名 SAMCO INC.  
 設立 昭和54年(1979年)9月  
 事業内容 半導体等電子部品製造装置の製造、販売及び輸出入  
 資本金 1,663,687,288円  
 従業員数 164名  
 本社 〒612-8443 京都市伏見区竹田藁屋町36番地  
 TEL(075)621-7841 FAX(075)621-0936  
 国内拠点 本社(京都)、東日本営業部(東京)、東海支店(愛知)、つくば営業所(茨城)、福岡営業所(福岡)  
 海外拠点 米国(カリフォルニア・ニュージャージー)、台湾、シンガポール、中国(上海・北京)、韓国、マレーシア  
 研究拠点 本社研究開発センター(京都)、オプティクス研究所(米国)

## ■ 役員

代表取締役会長兼CEO 辻 理  
 代表取締役社長兼COO 川 邊 史  
 取締役副社長 石川 詞念夫  
 取締役常務執行役員 竹之内 聡一郎  
 取締役執行役員 山下 晴彦  
 社外取締役 村上 正紀  
 小林 弘明  
 常勤監査役 辻村 茂  
 社外監査役 木村 隆之  
 西尾 方宏  
 執行役員 関 伸修  
 ピーター・ウッド  
 本山 慎一  
 佐藤 清志  
 外山 信一  
 宮本 省三

## ■ 株式の状況

発行可能株式総数 ..... 14,400,000株  
 発行済株式の総数 ..... 8,042,881株  
 株主数 ..... 7,395名

## ■ 大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
辻 理	982,307	12.2
サムコエンジニアリング(株)	920,282	11.4
勸サムコ科学技術振興財団	800,000	9.9
辻 一美	201,465	2.5
サムコ従業員持株会	198,438	2.5
辻 猛	184,815	2.3
(株)三菱UFJ銀行	129,600	1.6
日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口5)	111,000	1.4
立田 利明	103,099	1.3
三菱UFJキャピタル(株)	102,931	1.3

## ■ 所有者別株式分布状況

